

森家が改易※となつて津山を去つた後、元禄11年(1698)正月、津山城は松平家に与えられることとなりました。津山城と十万石の領地を得た松平家では、直ちに津山城請け取りの準備を進め、5月の正式な請け取りを前にして、多くの松平家家臣が江戸から津山入りしました。しかし、正式に領地と城が引き渡されるまで、松平家の家臣たちは武家屋敷に入居することができないので、町人の家に間借りをしました。津山の城下町には、森家の家臣たちが拝領していた武家屋敷がたくさん空いていましたが、勝手に入るわけにはいかなかったのです。

5月21日、津山城の請け取りに先立って、内山下・外山下の屋敷が幕府目付から松平家に引き渡されました。ちなみに、現在は山下という地名だけが残っていますが、その当時は津山城の堀を境として、内側を内山下、外側を外山下とも呼んでいました。

そして、5月25日、津山城の引き渡しが行われ、6月1日には御使番2人・切支丹奉行2人・作事奉行1人・中奥目付2人・御徒目付2人の合計9人が、屋敷割りの担当者として決定されました。ところが、彼らの準備作業は思いのほか長引いたようで、実際に屋敷割りが始まったのは6月16日でした。この日、家臣の一部である頭分と譜代衆の14人に屋敷が割り当てられました。家臣には、それぞれに格式がありますから、その高低によって屋敷地の広さや屋敷の位置が決まるのですが、同格の者たちの中では簡単には決められません。そこで、実際にどの屋敷が与えられるかは、

## 津山城百聞録

～「くじ」で決めた屋敷割り～

▶津山城下町絵図



くじで決められることになりました。そして、18日から屋敷割りのくじが実施され、7月3日までの間に307人の屋敷割りが終わりました。ただし、この中には家老などの重臣の名がないので、彼らには早い時期に別途、内山下の広大な屋敷地が与えられたものと思われます。日記の中には、記録が全く記されていない日もあるのですが、これがすべてだと断定することはできません。しかし、津山城拝領以前の松平家の家臣数は135人程度だったので、領地の拝領が決まっただけから急ぎよ雇い入れた家臣も含めて、300人余りというのは妥当な数字ではないかと考えられます。そして、家臣の数はこの後も増加を続け、多いときには600人余りになりました。

※領地などを取り上げられること

### 12月中のひとの動き

人口	110,939人(前月比△14)		
男	52,946人(同+6)		
女	57,993人(同△20)		
世帯	43,431世帯(同△14)		
転入	243人	転出	261人
出生	94人	死亡	90人

(1月1日現在)



広報つやまは、環境保護のため古紙配合率100%再生紙、大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクルにご協力ください。

### つぶ・や・き 編集室

荒れる成人式。少し緊張しながらの取材でしたが、津山市の新成人たちは最後まで行儀良く参加。会場に集まった千人近い男女を見ながら、津山にもたくさんの若者がいるんだと改めて気づき、頼もしさを感じました。(元)

コッペパンの中身をくりぬいて焼きそばを入れる元祖焼きそばパン(?)、牛乳のふたをメンコ代わりに遊んだ牛べん、定番の牛乳早飲み・朝食の競争。懐かしいですね。特にめったに出ないケーキは楽しみでした。(X)

(X) さんの腕白ぶりがうかがえますねえ。献立に一喜一憂し、友だちといっしょに毎日楽しみに食べた給食。今回、いろいろな方からお話を聞き、改めて体にも心にもたくさんの栄養をもらっていたことを感じました。(e)

つやま 広報 2月



編集・発行(毎月10日発行)  
津山市企画部市長公室(市役所3階)  
〒708-8501 岡山県津山市山北520番地  
☎0868-23-2111(代) ☎0868-32-2152  
Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます。  
<http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>

